

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
210011011	未来へつなぐアウトリーチスタートアップ Outreach activity for the future: start-up program	家政学部全教員			1	必修	1前期

科目の概要

「アウトリーチ」とは「手を伸ばす・差し伸べる」という意味であり、課題を抱えた人や地域へ積極的に支援をおこなう活動のことを指す。この科目では「未来へつなぐアウトリーチI」で実際にボランティア（アウトリーチ）活動をする準備をおこなう。まず授業前半で「アウトリーチとボランティアの社会的意義」「四大精神『真心・努力・奉仕・感謝』『社会人基礎力』『pisa型学力』『知識の獲得・活用・解決』」について理解した上で、後半に「未来へつなぐアウトリーチI」の実施計画書を作成する。なお、本科目は家政学部の教育目標（各学科のDP1、DP2、DP3に対応）の核となる「建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力」を学ぶ初年次教育科目に位置付けられている。

学修内容	到達目標
① アウトリーチとボランティアの社会的意義を理解する。 ② 四大精神を理解する。 ③ 社会人基礎力の理解と発揮法を理解する。 ④ 家政学の視点からボランティア先の課題を発見し、解決するための方法（pisa型学力）を理解する。 ⑤ ボランティア先の課題解決を解決するための実施計画書の作成法を学ぶ。	① アウトリーチとボランティアの社会的意義を理解することができる。 ② 四大精神を日常の中で実践することの重要性が理解できる。 ③ 社会人基礎力の実践法を理解し、授業内でその実践ができる。 ④ 家政学の視点からボランティア先の課題を発見し、課題を解決するための方策が提案できる。 ⑤ ボランティア先の課題を解決するための実施計画書案を作成することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	アウトリーチとボランティア活動の意義を十分理解し、目的・目標を自己のものとして、教員やメンバーから言われたことだけでなく、自らやるべきことは何かを考えられる。
	働きかけ力	活動の目的・目標に向かって「やろうよ」と呼びかけ、グループメンバーを動かすことができる。
	実行力	活動の目的・目標を達成しようという意志を持ち、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	活動の目的・目標の達成に向かって、現状の問題を把握したうえで、その問題を解消するための課題を設定することができる。
	計画力	活動の目的・目標の達成に向かって、課題解決のプロセスを明確にし、何をいつまでに実行するか計画を立てることができる。
	創造力	課題解決のための複数の手順（プロセス）を検討し、その中から最善の方策を提案することができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見・考え・提案を分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。
	傾聴力	対話する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。
	柔軟性	自身と異なる意見・考え・提案も受容し、それらを含めた複数の意見・考え・提案を整理して判断することができる。
	状況把握力	自分の立場・役割・使命を理解し、物事がどのように進行しているか把握できる。
	規律性	チーム内のルールや慣習を守りながら活動を進めることができる。
	ストレスコントロール力	負担をストレスとしてではなく自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：
「自学・共学システム『学びの泉』」 - 『智性・徳性・身体・感性・行動』の5つをバランス良く鍛える - （学泉ノート）（愛知学泉大学発行、学びの泉開発委員会）
参考：
愛知学泉大学 教育スタイル <https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/kisoryoku.html>

他科目との関連、資格との関連

「未来へつなぐアウトリーチI」の活動準備の科目となる。「未来へつなぐアウトリーチ」は「潜在能力の開発」とともに家政学部の教育目標を理解するための初年次教育科目に位置付けられる。

学修上の助言	受講生とのルール
この授業では、出題された課題に取り組み、ワークシートを活用して学修内容を整理する。次の授業に備えて、指定された資料等を読み準備をしておくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重する気持ちを常に持つ。 ・グループワーク活動では、失敗を恐れず、積極的に取り組む。 ・グループで決められたルールは、必ず守る。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	レポート	50	①	✓		提出されたワークシートの内容を本授業の到達目標の項目で評価する。 ① アウトリーチとボランティアの理念や社会的意義等を理解できている。 ② 四大精神を理解し、授業内でその実践ができている。 ③ 社会人基礎力を理解し、授業内でその実践ができている。 ④ 家政学の視点からボランティア先の課題を発見し、課題を解決するための方策が提案できている。 ⑤ ボランティア先の課題を解決する実施計画書案を作成することができる。
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	グループメンバーで活動計画を立案する過程の活動内容、貢献度を本授業の到達目標の項目で評価する。 ① アウトリーチとボランティアの理念や社会的意義等を理解できている。 ② 四大精神を理解し、その実践ができている。 ③ 社会人基礎力を理解し、授業内でその実践ができている。 ④ 家政学の視点からボランティア先の課題を発見し、課題を解決するための方策が提案できている。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	以下の能力評価方法は、学部統一のルーブリックで評価する。 【主体性】活動の目的・目標を自発的に探し出し、一歩でも前に進めようとする行動ができている。 【実行力】活動の目的・目標を達成しようという意志を持って行動し、決めたこと、決められたことは確実に成し遂げる行動を続けている。 【課題発見力】活動の目的・目標の達成に向かって、現状の問題を把握したうえで、その問題を解消するための提案ができている。 【創造力】活動時に発生する課題解決に対して、自分の意見・考え・提案をする行動ができている。 【発信力】活動時に自分の意見・考え・提案を持ち、それを分かりやすく整理して、相手に伝える行動ができている。 【傾聴力】活動時に対話する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができている。 【規律性】チーム内のルールを守りながら活動を進めることができている。 7つの能力要素は、ワークシートの記述内容と授業内での行動により担当教員が評価する。全能力要素の評価基準は学泉ノートの評価レベルを参照する。7つの能力が全てレベル3以上で10ポイントの評価となる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① アウトリーチとボランティアの理念や社会的意義等を理解できる。</p> <p>② 四大精神を理解し、授業内でその実践ができる。</p> <p>③ 社会人基礎力の実践法を理解し、授業内でその実践ができる。</p> <p>④ 家政学の視点からボランティア先の課題を発見し、課題を解決するための方策が提案できる。</p> <p>⑤ ボランティア先の課題を解決する実施計画書案を作成することができる。</p> <p>・①～⑤全ての項目ができている・・・S</p> <p>・①～⑤4項目以上ができている・・・A</p>	<p>① アウトリーチとボランティアの理念や社会的意義等を理解できる。</p> <p>② 四大精神を理解し、授業内でその実践ができる。</p> <p>③ 社会人基礎力の実践法を理解し、授業内でその実践ができる。</p> <p>④ 家政学の視点からボランティア先の課題を発見し、課題を解決するための方策が提案できる。</p> <p>⑤ ボランティア先の課題を解決する実施計画書案を作成することができる。</p> <p>・①～⑤3項目以上ができている・・・B</p> <p>C評価は授業計画「到達レベルC(可)の標準」に従う。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	学修内容の理解① ・科目概要の説明 ・前年度の活動内容の紹介 ※活動団体の希望調査	レクチャー	・科目の概要と目標が理解できる。	(予習) ・シラバスを確認しておく。 (復習) ・授業内容をワークシートに整理する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
2	学修内容の理解② ・ボランティアとは(岡崎市社会福祉協議会※予定)	レクチャー、質疑応答	・ボランティア、ボランティア活動とは何かを理解できる。	(予習) ・ボランティアについて文献、インターネットなどで調べておく。 (復習) ・授業内容をワークシートに整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
3	学修内容の理解③ ・活動地域の概要説明(豊田市旭支所長※予定)	レクチャー、質疑応答	・豊田市旭地区の地勢、歴史、現状が理解できる。	(予習) ・豊田市旭地区について文献、インターネットなどで調べておく。 (復習) ・授業内容をワークシートに整理する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
4	学修内容の理解④ ボランティア活動の心得 ・健康について ・マナーについて ・ボランティア活動におけるpisa型学力について ・ボランティア活動における四大精神について ・ボランティア活動における社会人基礎力について	レクチャー、質疑応答	・ボランティア活動に従事する際の心得について理解できる。	(予習) ・「学泉ノート」でpisa型学力、四大精神、社会人基礎力について再確認しておく。 (復習) ・授業内容をワークシートに整理する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	※第5週以降は各活動団体に分かれての授業となる。 ボランティア活動の準備① ・メンバー同士の交流 ・活動団体の目標や活動の条件について	レクチャー、ディスカッション	・配属された活動団体のメンバーと円滑なコミュニケーションをとることができる。 ・配属された活動団体の目標や活動の条件が理解できる。	(予習) ・配属された活動団体についての情報を調べておく。 (復習) ・授業内容をワークシートに整理する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	ボランティア活動の準備② 課題の抽出と活動内容の検討	レクチャー、ディスカッション、グループワーク、(フィールドワーク)	抽出された課題をもとにボランティア活動の内容をグループで話し合うことができる。	(予習) ・活動団体の課題を抽出し、参考となる活動事例を調べておく。 (復習) ・授業内で検討した活動案をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
7	ボランティア活動の準備③ 活動内容の再検討・修正	レクチャー、ディスカッション、グループワーク、(フィールドワーク)	・グループで話し合い、ボランティア活動の方針と内容をまとめることができる。	(予習) ・前回の授業での他のメンバーの意見も参考に、活動内容の修正案を準備しておく。 (復習) ・グループで明確にした活動内容を整理する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	ボランティア活動の準備④ 実施計画の立案	ディスカッション、グループワーク	グループで話し合い、活動団体の課題解決に向けての計画が立案できる。	(予習) ・決定した活動内容から、具体的な実施計画案を準備しておく。 (復習) ・グループでまとめた実施計画を整理する。 グループの活動計画から個人の活動計画を策定する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力